

豊臣秀次と八幡山城

1) 概要

豊臣秀次は永禄 11 年（1568）に羽柴秀吉（後の豊臣秀吉）の姉 **智**^{とも} と木下弥助の長男として尾張国知多郡大高村で誕生しました。叔父の羽柴秀吉は織田信長の元で天下統一に尽力しますが、信長が天正 10 年（1582）に本能寺の変で亡くなると、その意思を引き継ぎ天下人としての道を歩き始めます。秀次は四国攻めを成功させ、その恩賞として近江 43 万石を与えられると、天正 13 年（1585）から**八幡山城**と**八幡城下町**の造営を開始します。

秀次は八幡山山頂にあった**日牟禮八幡宮**上社を麓の下社に合祀しました。八幡山城は山頂に八幡山城の本丸、二の丸、西の丸、出丸、北の丸を配置し、二の丸と出丸の谷筋の下に**秀次の居館**を設けました。**発掘調査**では秀次居館と思われる場所から金箔を貼った瓦が確認されています。また、八幡山城の堀である**八幡堀**は琵琶湖と繋がり、琵琶湖の水運を利用する水路としての役割も果たしました。

八幡城下町は、安土城下町を移して造られたと伝えられており、池田町、佐久間町、正神（庄神）町、小幡町、永原町、慈恩寺町など現在も安土城下町と同名の町が残ります。縦に十二の通りが並び、それに直行する横筋四本により、碁盤目状の長方形街区が整備されました。城下町は一部湿地を埋め立てて造られましたが、開削された八幡堀や城下町の地割に沿って設置された**背割の溝**による排水を行い整備されました。また、地下には竹管を使った**古式水道**を設けるなど、先進的な試みも行っています。城下町には**本願寺八幡別院**などの寺院が配置され、寺以外に非常時に城や城下町の防衛拠点としての意味も持ち合わせていました。

城下には、「**八幡山下町中掟書**」が発給されましたが、これは安土城下に発給された「**安土山下町中掟書**」を踏襲したもので、加えて中山道を利用する商人を八幡町に立ち寄せ、商船を八幡湊に引き入れるなど経済活動の発展を促す内容で、江戸時代に八幡が商人町として発展する基盤となっていきました。

天正 14 年（1586）、秀次は豊臣の本姓を与えられ豊臣姓を称し、天正 19 年（1591）には関白に任官されます。その頃になると秀次は尾張国清須城に移封され、八幡山城には京極高次が入城することとなりました。文禄 4 年（1595）、秀次は謀反の疑いをかけられ、高野山で切腹し、八幡山城はその後に廃城されました。秀次の母 **日秀尼**^{にっしゅうに} は、秀次の菩提を弔うため京都村雲に**瑞龍寺**（村雲御所瑞龍寺）を建立しました。

昭和 37 年（1962）、八幡山ロープウェーが開通し、また、翌年には瑞龍寺が京都村雲から秀次ゆかりの八幡山山頂本丸部分に移築復興され、現在に至ります。八幡山山頂には、当時の石垣が残されており、西の丸、北の丸、出丸なども整備され、ロープウェーで簡単に登れることもあり、多くの観光客が訪れます。展望台からは市域が一望でき、眼下に広がる城下町の整然とした町並みは、かつて秀次も見た風景とも重なり、八幡の興隆の姿を体感できます。

2) 構成歴史文化資産

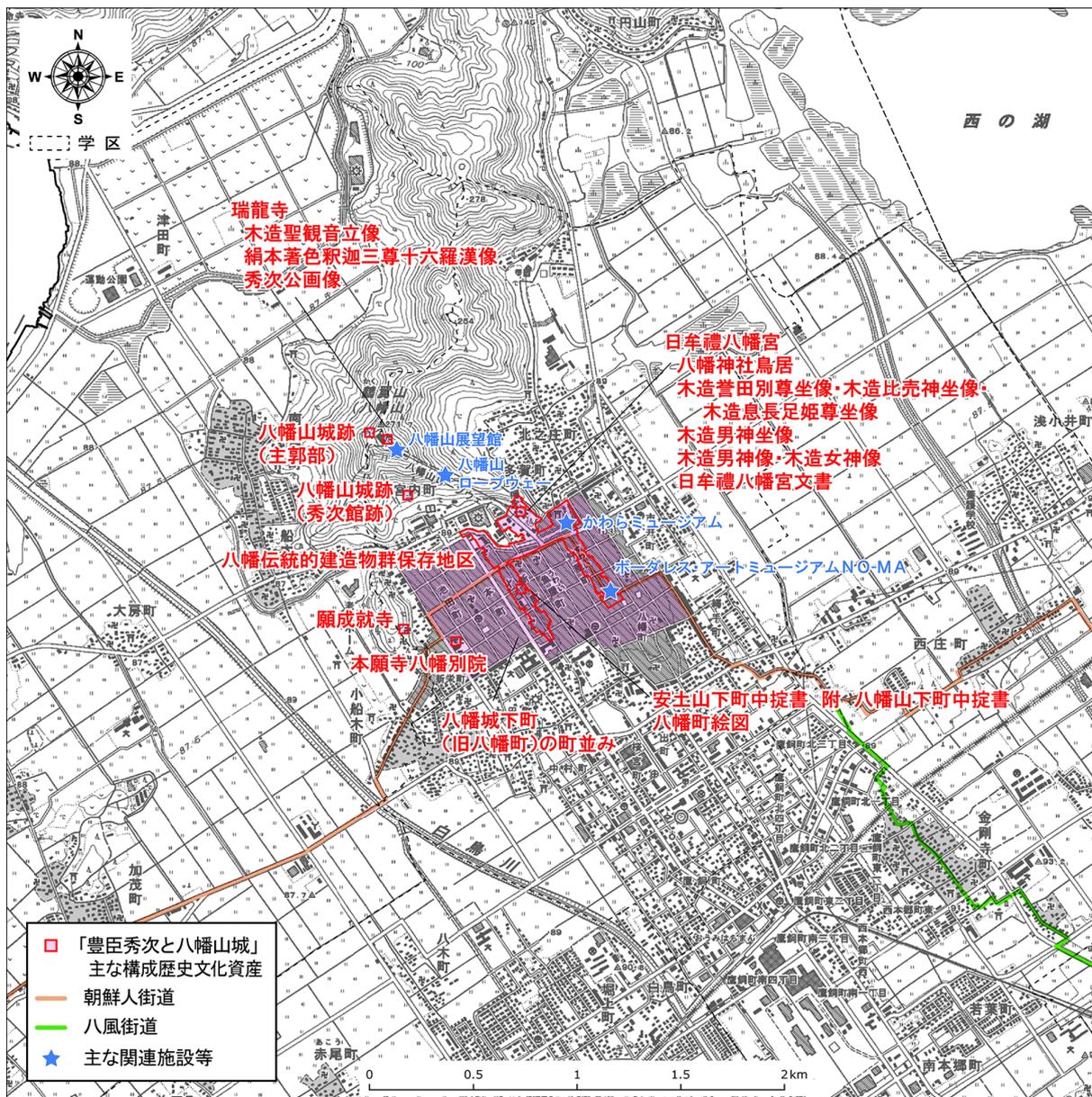
	種別	名称	類型
1	記念物	八幡山城跡（主郭部、秀次館跡、石垣跡等）	未指定
2	有形文化財	八幡山城跡出土品（金箔瓦、軒丸瓦等）	未指定
3	有形文化財	安土山下町中掟書 附 八幡山下町中掟書	国指定文化財
4	有形文化財	八幡町絵図	市指定文化財
5	伝統的建造物群	八幡伝統的建造物群保存地区	国選定文化財
6	有形文化財	瑞龍寺 絹本著色釈迦三尊十六羅漢像	県指定文化財
7	有形文化財	瑞龍寺 木造聖観音立像	市指定文化財
8	有形文化財	瑞龍寺 秀次公画像	未指定
9	有形文化財	本願寺八幡別院 本堂、表門、鐘楼、裏門	県指定文化財
10	有形文化財	日牟禮八幡宮 八幡神社鳥居	県指定文化財
11	有形文化財	日牟禮八幡宮 木造誉田別尊坐像・木造比売神坐像・木造息長足姫尊坐像 木造男神坐像 木造男神像・木造女神像	国・市指定文化財
12	その他人文	日牟禮八幡宮文書	未指定
13	その他人文	街道（朝鮮人街道）	未指定
14	その他人文	八幡城下町（旧八幡町）の町並み （古式水道跡、背割の溝跡、地割、地名等）	未指定
15	その他人文	ゆかりの社寺 （瑞龍寺、日牟禮八幡宮、願成就寺、本願寺八幡別院等）	未指定

その他…上記以外の埋蔵文化財包蔵地（八幡山城跡等）遺構及び出土品、近江八幡の火祭り（国選択）、日牟礼の左義長行事（県指定）、瑞龍寺に関する資産（美術工芸品等）、街道に関する資産（道標、常夜灯、町石等）、豊臣秀次像（八幡公園）等

3) 保存・活用の核となる関連施設等

八幡山ロープウェー（八幡）、八幡山展望館（八幡）、かわらミュージアム（八幡）、
ボードレスアートミュージアム NO-MA（八幡）など

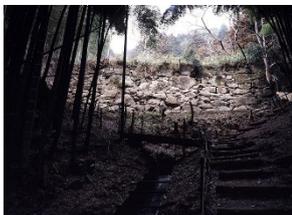
「豊臣秀次と八幡山城」主な構成歴史文化資産等の分布



※市外に所在、または市内外の美術館等に寄託している資産について元の所在地情報に基づき場所を示している



八幡山城跡 石垣



八幡山城跡 秀次館跡



八幡山頂からの眺望



瑞龍寺



八幡山下町中掟書 (部分)



日牟禮八幡宮



八幡城下町 背割の溝跡



八幡城下町 古式水道 (陶管)